

令和8年（2026）6月 入域観光客数概況（確定版）

80万5,000人
対前年（R7）同月比 ▲3万3,900人、▲4.0%
～6月としては過去4番目～

【更新履歴】①令和8年7月27日速報版公表
②令和8年9月25日確定版公表

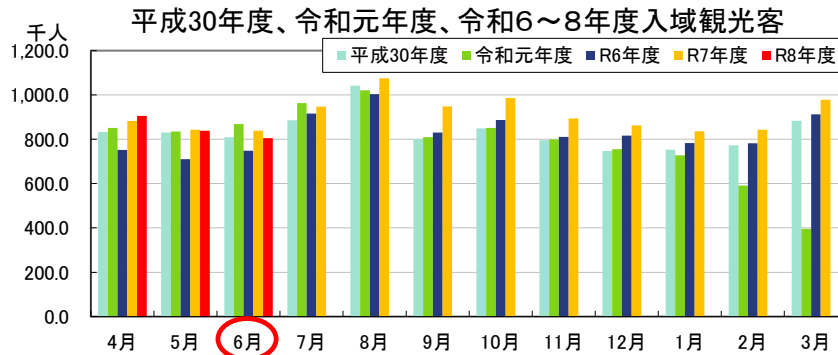
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、9月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（R7年度との比較）

区分	R8年度	R7年度	増減数	増減率	構成比
国内客	580,400 人	599,700 人	△ 19,300 人	△ 3.2%	72.1%
空路	576,600 人	595,800 人	△ 19,200 人	△ 3.2%	71.6%
海路	3,800 人	3,900 人	△ 100 人	△ 2.6%	0.5%
外国客	224,600 人	239,200 人	△ 14,600 人	△ 6.1%	27.9%
空路	176,200 人	169,800 人	+ 6,400 人	+ 3.8%	21.9%
海路	48,400 人	69,400 人	△ 21,000 人	△ 30.3%	6.0%
合計	805,000 人	838,900 人	△ 33,900 人	△ 4.0%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等14,900人を含む。



国内客 入域状況

6月は、旅行需要を見込んだ航空会社による増便・臨時便があったものの、月初の台風6号および月末の台風7号の接近に伴い航空便の欠航等があったことから、前年同月を下回った。
なお、国内客総数においては6月として過去3番目となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R8年度	R7年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	282,200 人	287,000 人	△ 4,800 人	△ 1.7%	48.6%
関西方面	126,900 人	134,800 人	△ 7,900 人	△ 5.9%	21.9%
福岡方面	72,100 人	76,300 人	△ 4,200 人	△ 5.5%	12.4%
名古屋	50,200 人	49,900 人	+ 300 人	+ 0.6%	8.6%
その他	49,000 人	51,700 人	△ 2,700 人	△ 5.2%	8.4%
合計	580,400 人	599,700 人	△ 19,300 人	△ 3.2%	100.0%

参考：国内線経由入域外国人数

地域別	R8年度		R7年度		主要国・地域
	人数	シェア	人数	シェア	
北米	29,000	55%	21,900	52%	アメリカ合衆国、カナダ等
ヨーロッパ	10,300	20%	7,300	17%	イギリス、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、ポーランド、オーストリア、チェコ、デンマーク、スウェーデン、ロシア等
アジア	7,500	14%	5,800	14%	中国、香港、台湾、韓国、ASEAN、インド等
オセアニア	1,500	3%	1,300	3%	オーストラリア、ニュージーランド等
中米・南米	100	0%	200	0%	ブラジル、メキシコ、アルゼンチン等
その他	4,100	8%	5,900	14%	
合計	52,500	100%	42,400	100%	

※航空会社ヒアリングにより推計値を算出（推計方法が異なるため、年度比較に留意）。
※推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。

外国客 入域状況

6月は、石垣－台北路線（6月2日～10月24日）の増便等があったものの、台風接近による航空便の欠航やクルーズ船の寄港中止等から、前年同月を下回った。
なお、台湾・韓国からの観光客は過去最多を記録したものの、外国客総数としては過去5番目の記録となった。

- トピック ▶【台湾】日本トランスオーシャン航空は那覇－台北路線（2026年10月25日～2027年3月27日）を1日1往復から2往復に増便予定。
▶【シンガポール】スクートは那覇－シンガポール路線（10月31日～）を週4便から週5便に増便予定。

外国客 国籍別入域状況

区分	R8年度	R7年度	増減数	増減率	構成比
台湾	120,900 人	114,900 人	+ 6,000 人	+5.2%	53.8%
韓国	49,100 人	45,000 人	+ 4,100 人	+9.1%	21.9%
中国本土	5,900 人	26,700 人	△ 20,800 人	△77.9%	2.6%
香港	17,900 人	16,800 人	+ 1,100 人	+6.5%	8.0%
アメリカ	4,700 人	4,200 人	+ 500 人	+11.9%	2.1%
タイ	1,200 人	1,300 人	△ 100 人	△7.7%	0.5%
シンガポール	2,300 人	3,000 人	△ 700 人	△23.3%	1.0%
その他	22,600 人	27,300 人	△ 4,700 人	△17.2%	10.1%
合計	224,600 人	239,200 人	△ 14,600 人	△6.1%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等14,900人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R8年度	R7年度	増減率	構成比	R8年度	R7年度	増減率	構成比
台湾	91,600 人	78,600 人	+16.5%	52.0%	29,300 人	36,300 人	△19.3%	60.5%
韓国	47,100 人	44,900 人	+4.9%	26.7%	2,000 人	100 人	+1900.0%	4.1%
中国本土	5,900 人	16,900 人	△65.1%	3.3%	0 人	9,800 人	皆減	0.0%
香港	17,900 人	16,100 人	+11.2%	10.2%	0 人	700 人	皆減	0.0%
アメリカ	3,800 人	3,400 人	+11.8%	2.2%	900 人	800 人	12.5%	1.9%
タイ	1,100 人	1,300 人	△15.4%	0.6%	100 人	0 人	皆増	0.2%
シンガポール	2,200 人	2,900 人	△24.1%	1.2%	100 人	100 人	+0.0%	0.2%
その他	6,600 人	5,700 人	+15.8%	3.7%	16,000 人	21,600 人	△25.9%	33.1%
合計	176,200 人	169,800 人	+3.8%	100.0%	48,400 人	69,400 人	△30.3%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等14,900人を含む。

